

セントラルケンタッキー日本人補習校 令和5年(2023)10月28日

CKJSだより

第66号

校長 松平 昭二

shoji_matsudaira@hotmail.co.jp

未来を信ずる歌

私たちの世代は、NHK テレビの人形劇「ひょっこりひょうたん島」を見て育った世代です。その中で、私の記憶に強烈に残っている歌があります。ドン・ガバチョが歌う「未来を信ずる歌」です。

「(前略) 今日がダメなら明日にしまチョ。明日がダメなら明後日にしまチョ。明後日がダメなら明々後日にしまチョ。どこまで行っても明日がある。ホイ♪」

ガバチョ自身はただ問題を先送りしているだけなのですが、この歌を聴くと妙に元気が出るのです。この歌の作詞家で台本作家の一人だった井上ひさし氏が生前語っていたところによれば、この歌をたまたま耳にしたおかげで、一家心中を思いとどまったという家族からの手紙が届いたそうです。確かに、この歌からは、いかに苦しく困難な状況にあっても未来への希望を捨てずに前向きに生きようとする姿勢や、現実の壁に直面しながらも理想を捨てずに努力しようとする強靱さを感じ取ることができます。

試しに、次のように歌詞を変えてみたらどうなるでしょうか。

「今日がダメなら明日もダメだ。明日がダメなら明後日もダメだ。明後日がダメなら明々後日もダメだ。どこまで行ってもダメダメだ」

これでは夢も希望もありません。どうせダメに決まっていると考える敗北主義者です。「どうせ実現しない」と考えたとたんに、実現の可能性は断たれます。「いつか実現できる」と思うから頑張れるし、そう思って頑張る人たちがいるから実現するのです。

この世界には、容易には実現しそうにない夢や希望や理想があります。例えば、癌の撲滅、核融合エネルギーの開発、貧困の根絶、人権の保障、差別の解消、核兵器の廃絶などなど……………。

諦めない人たちが未来をつくるのです。

最近、インフルエンザやコロナが流行りつつあるようです。運動、食事、睡眠をしっかりとって、病気に負けることなく、明るい未来を信じて前向きに過ごしましょう！私たちが元気で前向きに過ごすことが、子どもたちの幸せにもつながるのです。

